

第1回 技術講演会・出展技術発表会を開催しました。 (平成28年4月20・21日)

関東技術事務所では、建設技術展示館において、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を継続して実施しております。その一環として「第1回技術講演会・出展技術発表会」を建設技術展示館にて開催しました。

今回は、両日で延べ371名という多数の方々のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所の所長挨拶の後、技術講演会第1日目は、関東地方整備局 企画部 技術調査課 小澤課長補佐による「関東地方整備局における平成28年度の入札・契約・総合評価（工事）の実施方針について」、2日目は、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 近藤課長補佐による「国土交通省におけるICT・次世代インフラ用ロボットの導入推進の取り組みについて」と題したご講演を頂きました。

技術講演会の後は、出展技術発表会で出展者により16技術が紹介されました。

1 日 時	: 平成28年4月20（水）13:00～17:15・21日（木）13:00～17:15
2 場 所	: 関東技術事務所 建設技術展示館
3 参 加 者	: 1日目 205名、2日目 166名 延べ 371名



主催者挨拶

要旨:

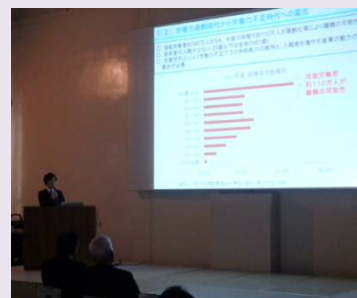
主に建設技術者の方々を対象として、建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を提供して、公共工事に係る技術者の知識の習得及び技術の普及を図ることを目的として開催。



1日目 技術講演会

要旨:

- ① 平成27年度の実施状況について
- ② 平成28年度の実施方針について
- ③ 工事の安全対策等について



2日目 技術講演会

要旨:

- ① 施策の背景
- ② i-Constructionの導入
- ③ ICT技術の全面的活用(土工)の導入
- ④ 基準類整備の概要
- ⑤ ICT導入支援(ICT活用工事)
- ⑥ 今後の取り組み



出展技術発表会の様子



1日目 会場の様子



2日目 会場の様子

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「橋梁、基礎工」で、第1日目は7技術、第2日目は9技術についての発表が行われました。

【1日目】

発表技術名「副題」	NETIS登録No.	出展者名
SFT工法 切羽掘削のない、安全で経済的なトンネル施工法	KT-050068-A	アンダーパス技術協会
アール・アンド・シー(R&C)工法 低土被り非開削地下立体交差施工法	KT-040015-A	
オープンシールド工法 大断面ボックスカルバートの地中埋設技術		オープンシールド協会
STマイクロパイル工法 タイプI 既設構造物などを補強する技術	HR-030012-V	NIJ研究会
フリードームシステム 多様な断面形状に対応可能なトンネル覆工養生システム	KT-140115-A	株式会社 NDC
プレミアム・モジュールファン ファンのモジュール化により電力コストを縮減する技術		株式会社 アクティオ
トンネル フェイステスター(TFT) 掘削発破を利用した切羽前方探査システム		株式会社 安藤・間

【2日目】

発表技術名「副題」	NETIS登録No.	出展者名
プレキャストPC技術の開発と推進 高品質・高耐力・合理化を目指したPC技術の推進		一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会
プレーキダンパー橋梁 摩擦型制震装置を用いて巨大地震から橋を守る技術		株式会社 大林組
固定ゴム支承装置(FxSB) 高い支持力性能を有する弾性荷重支持板を用いた固定ゴム支承装置	KK-040051-V	株式会社 ビービーエム
超小型ゴム支承装置(UCB) 既設橋梁への適用性をより高めた超小型ゴム支承装置	KK-100022-A	
高気密ステンレス排水管 高耐候性のステンレス材を橋梁排水管に用いる技術	CB-980013-V	株式会社 トーカイスパイラル
高速アーク溶射工法 鉄製品長寿命化のコストダウンを実現する溶射工法	QSK-140002	株式会社 アークインターナショナル
先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」 橋梁桁下、建築物の天井などに仮設の作業フロアを構築する技術	TH-150007-A	日綜産業 株式会社
ステップグラウト工法 トラフィカビリティーの改善技術	KK-140023-A	株式会社 大阪防水建設社
グラミック工法 基礎杭のクラック補修技術	KK-150019-A	